



総研大ニューズレター

第107号 2017.5発行

●目次

【今月のトピックス】

平成29年度春季入学式

第3回総研大未来科学者賞・科学者賞授賞式

第3回総研大科学者賞受賞者講演

平成29年度前学期フレッシュマンコースを開催

第1回総研大情報学専攻ホームカミングデー

葉山キャンパス研究者ガイダンスの開催

総務課

学生厚生係・研究協力係

研究協力係

学融合推進事務室

情報学専攻

生命共生体進化学専攻・講師 大槻久

【受賞・採択情報】

小平桂一元学長が瑞宝重光章を受賞

平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰の授賞教員一覧

【イベント情報】

主なイベント予定

13日

平成29年第2回基礎生物学専攻 大学院説明会

20日

生命共生体進化学専攻 講演会・説明会

20日

遺伝学専攻の大学院一日体験会

28日

物理科学研究科 核融合科学専攻 入試説明会

6月2日-3日

分子科学研究所オープンパス2017

6月2日-3日

生命共生体進化学専攻オープンキャンパス

6月10日

情報学専攻 大学院説明会

6月14日-19日

JSPS サマー・プログラム2017

6月15日-16日

総研大生のための英語ポスタープレゼンテーション短期研修

6月16日

統計科学専攻 学生研究発表会（ポスター）

統計科学専攻 大学院説明会

【今月のトピックス】

●平成29年度春季入学式

4月11日（火）に平成29年度春季入学式が行われ、6カ国、70名の入学者を迎えました。式典では、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ、入学許可されました。最後に、学長より式辞があり、出席者は新しい環境のもとで研究することに対して、緊張感をもって聞き入っていました。



なお、研究科内訳は以下の通りです。文化科学11名、物理科学20名、高エネルギー加速器科学10名、複合科学12名、生命科学14名、先導科学3名。入学者の出身国の内訳は以下の通りです。日本62名、中華人民共和国4名、タイ王国、台湾、ベトナム社会主義共和国、マレーシア各国1名。

【総務課】



● 第3回総研大未来科学者賞・科学者賞授賞式

平成 26 年度に創設された「総研大科学者賞」及び「総研大未来科学者賞」について、入学式と同日の平成 29 年 4 月 11 日（火）に授賞式が行われました。

・「総研大科学者賞」は、本学において博士号を取得し、科学者として活躍している者の研究を顕彰することを目的とするものです (http://www.soken.ac.jp/alumni/scientist_award/)。今回 2 名の応募があり、総研大科学者賞選考委員による書類審査を行い、選考委員会において研究内容を中心に国際性・学際性・社会性について総合的に判断した結果、荒木光典氏（東京理科大学・プロジェクト研究員）を受賞者に決定し、授賞式において、学長から賞状及び副賞が授与されました。



【受賞者】敬称略

荒木 光典

（数物科学研究科[現：物理科学研究科] 構造分子科学専攻 平成 11 年 3 月学位取得）

現職：東京理科大学・研究推進機構・総合研究院・プロジェクト研究員(PI)

・「総研大未来科学者賞」は、科学者を志す本学在学生の学位研究を奨励することを目的とするものです (<http://www.soken.ac.jp/campuslife/grant/scientistaward/>)。

今回各専攻から計 13 名の応募があり、総研大未来科学者賞選考委員による書類審査及び選考委員会において、川島孝行さん（複合科学研究科・統計科学専攻）、飯塚朋代さん（生命科学専攻・遺伝学専攻）、加藤貴大（先導科学研究科・生命共生体進化学専攻）の 3 名を受賞候補者と決定し、授賞式において学長から賞状が授与されました。また、入学式に引き続いて開催されたフレッシュマンコース（学生セミナー）では受賞者が研究発表を行い、新入生との交流会に参加しました。

【受賞者一覧】敬称略

川島 孝行（複合科学研究科 統計科学専攻）

「ビッグデータ解析のためのロバストかつスパースな回帰モデリング」

飯塚 朋代（生命科学専攻 遺伝学専攻）

「比較ゲノム解析による平行進化機構の解明 ～担子菌類を例として～」

加藤 貴大（先導科学研究科 生命共生体進化学専攻）

「スズメ *Passer montanus* における胚の性特異的死亡を介した二次性比の偏り—性特異的死亡の至近要因と生態学的要因，およびその帰結—」



（左から）飯塚さん、川島さん、加藤さん



【研究協力係/学生厚生係】

● 第3回総研大科学者賞受賞者講演会

総研大科学者賞の受賞者である荒木氏を講師として「一念を貫け レアチャンスはレアじゃない」をテーマに、研究内容や研究者としての道程などについての講演が行われました。電波分光による星間分子の同定の研究への熱意や、時代の先を読みレアチャンスを手にした経験などの話に、新入生は興味津々に耳を傾けていました。講演終了後には、新入生との間に活発な質疑応答があり、大変盛況な講演会となりました。

【研究協力係】



講演会での質疑応答の様子

● 平成29年度前学期フレッシュマンコースを開催

平成29年度春期入学式の後、4月11日から14日の4日間で平成29年度前学期総研大フレッシュマンコースが開催されました。今回は全研究科から総勢63名の新入生が受講しました。また、各研究科から選出された在学生からなる学生セミナー実行委員（以後、学生委員）ほか、先端科学研究科及び学融合推進センターの葉山キャンパスの教員多数に加え、各専攻からのフレッシュマンコース担当教員の先生、6研究科長、興味を持って来られた先生方も参加され、葉山キャンパスのプログラムの中でも、とても賑やかなものとなりました。

1日目は「知のフロンティア」の“総研大科学者賞受賞者講演会（以後、講演会）”と「学生セミナー」の“総研大未来科学者賞受賞者によるショートトーク（以後、ショートトーク）”、“アイスブレイク”が行われました。本年度は、6研究科長も学生セミナーに参加し、アイスブレイクでは、受講学生は学生委員・教員を含めた12班にわかれ、意見交換などを行いました。



学生委員による研究紹介

新入生は、講演会（当日の様子については、トピックス「第3回総研大科学者賞講演会」をご覧ください）とショートトークの聴講を通して、研究者としての心得や考え方を理解しました。また、新入生にとって、総研大の先輩方の話を聞いたことは、研究意欲への向上や自身の

研究への考え方を見直すことにつながったようです。1日目の終わりに懇親会が開かれ、新入生は新入生同士だけでなく、参加教員ともざっくばらんに会話することで、交流を深めていました。

2日目は「学生セミナー」の“研究科・研究紹介（以後、研究紹介）”と「研究者と社会」の“第1部 研究者倫理”です。研究紹介は、学生委員がこの日のために作り上げた企画です。学生委員がグループに分かれ、それぞれ新入生に各研究科の紹介や各専攻分野の面白さをプレゼンテーションしました。プレゼンテーション後には、各研究科への質問等をポストイットに書き出し、班ごとにディスカッションを行いました。ディスカッション後の質問タイムでは、新入生から学生委員に対して多くの質問が寄せられ、新入生と学生委員との間で活発な質疑応答が行われていました。新入生からは、異分野（他専攻）交流・理解ができたことについて、良かったという意見が多数あ



研究紹介（学生委員・教員とディスカッションを行う新入生たち）

りました。

続いて“研究者倫理”では、新入生が「最良の研究者像」についてワークショップ（WS）を行い、各自で付箋紙に最良の研究者には何が必要かを箇条書きにし、各グループ内で議論しポスターをまとめ、その結果を発表しました。次に、講師から研究における不正行為等の研究倫理についての講義が行われた後、新入生は各自の研究分野で生じる不正とその対策について、「ショートエッセイ」を作成しました。



研究倫理のWSの様子

3日目も「研究者と社会」が続きます。“第2部 研究の社会史”では、現在のような研究者やその支援体制が登場してきた背景や、研究者と社会との関係性の歴史の変遷を、現在の研究者とその研究活動を特徴付ける要素に着目しながら、19世紀頃からの研究(者)に関する科学史が語られました。“第3部 科学コミュニケーション”



研究者と社会（第3部）グループ発表

では、遺伝子組換え（GM）作物の野外栽培実験を巡る社会問題を題材にWSを行いました。新入生が研究者グループと農業関係者グループに分かれ、それぞれの利害について意見し、「研究者」として社会に伝えるべきメッセージは何か、異なる立場のそれぞれの価値観を理解するとは何か、など科学コミュニケーションについて学びました。

最終日は「研究者のための“伝える”技術」です。この講義では、パラグラフ構造の理解及びアウトラインとはなにかを学ぶ「ライティング」と、国立遺伝学研究所（遺伝研）で開発された科学英語プレゼンテーションカリキュラ

ム「遺伝研メソッド」の講義から「口頭での研究発表（プレゼンテーション）技術」を学びました。午前中は、「ライティング」の講義が行われました。まず初めに講師から、主語・述語の呼応、事実・意見の書き分け、1つのパラグラフでは1つのことについて書くなど、文系・理系問わない基礎的な文章の推敲方法について講義が行われました。次に、新入生が前の講義内容に基づき課題文を推敲し、2人1組で意見交換を行いました。続いて“要旨作成”では、与えられた要旨作成課題に取り組んだ後、新入生同士がお互いの文章に対する意見交換を通して、文章要約のポイントを身につけていました。午後からは、広海健 総研大名誉教授（遺伝研リサーチ・アドミニストレーター室・室長）による遺伝研メソッドの講義が行われました。「遺伝研メソッド」の講義を通して、受講者は聴衆に「伝えたいこと」を伝える方法や、聴衆への情報提示の技術などプレゼンテーションを身につけました。



ライティングの講義



遺伝研メソッドを話す広海先生

4日間の合宿型プログラムは、新入生にとってハードスケジュールだったようで、全体アンケートには「(期間について)タイムスケジュールがきつい(長い)」という意見がありました。しかし、「異分野の研究活動を知り、視野が広がった(モチベーションが上がった)」という意見が多数寄せられ、異分野交流の観点では多くの学生から高評価でした。新

入生の皆さんに、総研大特有の分散型キャンパスではなかなか出会うことのない同期学生と過ごしたについて、専攻を越えて学生間の交流を持てたことが刺激的で、有意義だったと感じていただいた事を嬉しく思います。また、今回は参加学生のうち男性の比率が多かったこともあり、「夕食(昼食)が足りなかった」という意見もありました。なお、その他プログラム内容についても色々と意見がありましたので、今後検討・改善していく予定です。長丁場ではありましたが、新入生の皆様と過ごした本プログラムはとても楽しかったです。

新入生の皆様には各専攻での研究、生活と新しいことが多く待ち受けているかと思いますが、今回出会った仲間との交流をこれからも大切にしていいただければと思います。今後、益々のご活躍を祈念しております。最後になりましたが、本プログラムにご尽力いただいた各専攻の先生方並びに葉山の先生方に御礼申し上げます。



【学融合推進事務局】

● 第1回総研大情報学専攻ホームカミングデー

情報学専攻は、3月23日(木)に、第1回総研大情報学専攻ホームカミングデーを開催しました。今回初めてのホームカミングデーの開催でしたが、海外からの参加者9名を含め、32名の修了生が参加しました。また、所内関係者も多数参加しました。

プログラムは2部構成にて行われ、第1部では武田英明副専攻長による開会の挨拶に始まり、胡振江専攻長から情報学専攻の現状について紹介がありました。続いて喜連川優所長から国立情報学研究所の概要について説明がありました。

第2部では2部屋に分かれてパラレルセッションが行われました。まず初めに教員からKeynote Talkが行われ、その後は修了生からプレゼンテーションが行われました。参加者は熱心に発表に聴き入り、活発な議論が行われました。また、コーヒープレイク中は参加者同士で積極的に交流する姿が見受けられました。

その後に行われた懇談会では、修了生から自己紹介も兼ねた簡単なスピーチが行われました。また、情報学専攻における最初の修了生でもある大向一輝准教授より、情報学専攻の同窓会立ち上げのアナウンスが行われました。懇談会は国立情報学研究所学位授与記念メダル贈呈式・優秀学生賞表彰式祝賀会と合同に開催されたため、今学期の修了生や在學生、指導教員も参加し大変盛況でした。

今回参加した修了生からは、同期生や指導教員に再会する良い機会となった、修了生同士で



パラレルセッションの様子

共同研究を行う契機となった、今後もこのイベントを継続して欲しい等の意見が寄せられました。また、在学も修了生と新たな人脈を構築することができ、非常に有意義なイベントとなりました。今後も定期的に開催していきたいと考えております。



【情報学専攻】

● 葉山キャンパス研究者ガイダンスの開催

先導科学研究科では今年度から新入生オリエンテーションと同日に「葉山キャンパス研究者ガイダンス」と銘打って、ITセキュリティ及び研究倫理等に関する講習会の開催を始めました。

昨今、情報セキュリティインシデントや研究不正等が起きる度にその事がメディアで大きく取り上げられ、研究者の社会的責任が厳しく問われています。このガイダンスの目的は、責任ある研究者として活動するための基礎的知識を学び、また最新の動向に触れてそれらを再確認することにあります。今年度は対象を先導科学研究科全構成員（教員・特別研究員・学生・研究補助員者を含む）及び葉山キャンパスで教育・研究に従事する教員（学融合推進センター・学術情報基盤センター）とし、4月17日（月）に葉山キャンパス共通棟2階講義室においてガイダンスを実施しました。当日は先導科学研究科から46名、その他から7名、計53名の参加がありました。



研究公正講習会で話す大西助教

このガイダンスは5部立てで、当日は以下の順に講習が行われました。参加者は熱心に聞き入っていました。

- 1 情報セキュリティ講習会（大田竜也情報基盤整備推進部長）
- 2 研究公正講習会（助教 大西勇喜謙）
- 3 研究倫理規定等講習会（講師 沓掛展之・助教 水島 希・准教授 田辺秀之）
- 4 安全衛生・健康管理・危機管理について（准教授 田辺秀之）
- 5 野外調査の安全について（講師 沓掛展之）

第1部では、最近の大学関連の情報セキュリティインシデントの動向と、日頃から気をつけるべき点についての説明がありました。第2部では研究における不正行為とは何かについて具体例を交えて説明がありました。動物研究、人間を対象とする研究、ヒトゲノム研究のそれぞれに対し総研大（もしくは葉山キャンパス）には規程等のルールがありますが、第3部ではその内容について解説がありました。以上、第1部から第3部までの講習に関しては出席者名簿を作成し保管することとしました。記録に残すことで講習履修のエビデンス化を図るとともに、より意識を高めてもらうことがその狙いです。



研究者ガイダンスのテキスト

第4部では葉山キャンパス内での様々な安全対策や健康相談についての説明、第5部では野外調査に対する心構えと注意点についての説明がありました。

以前にも先導科学研究科では単発的な講習会は開催されていましたが、体系立てて複数の講習会を一度に開催するのはこれが初めての試みです。参加者や講師からのフィードバックも踏まえ、来年度以降もこの試みを続けていきたいと考えています。

【先導科学研究科 生命共生体進化学専攻・講師 大槻 久】

受賞

小平桂一元学長が瑞宝重光章を受賞

4月29日（土）、平成29年春の叙勲受章者が発表され、小平桂一元学長が瑞宝重光章を受章されました。伝達式は、5月9日（火）に皇居において執り行われます。

小平元学長は、恒星物理学と銀河物理学の分野において、早期型星の分光学的研究や銀河の定量分類の研究を進めるとともに、大型光学赤外線望遠鏡計画の総括責任者として「すばる」望遠鏡建設や環境整備に尽力し、完成後には「すばる」望遠鏡による先駆的な銀河研究も行って成果を挙げ、天文学の発展に貢献されました。

また、平成13年に本学学長に就任してからは、国立大学法人化前後の本学の運営に尽力されました。



【専門】天文学（恒星物理学、銀河物理学）

【主な経歴】

昭和57年11月 東京大学教授
昭和63年7月 国立天文台教授
平成6年4月 国立天文台長（平成12年3月まで）
〃 総合研究大学院大学数物科学研究科天文科学専攻教授・専攻長
平成13年4月 総合研究大学院大学学長（平成16年3月まで）
平成16年4月 国立大学法人総合研究大学院大学学長（平成20年3月まで）

【主な受賞等】

平成8年1月 小惑星6500番「KODAIRA」と命名
平成13年9月 カール・シュヴァルツシルト賞
平成27年8月 外務大臣表彰

【総務課人事係】

平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門、研究部門、理解増進部門）、若手科学者賞の受賞一覧

○複合科学研究科 情報学専攻 漆谷重雄 教授
阿部俊二 准教授
合田憲人 教授
山田茂樹 名誉教授

平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）を受賞
受賞業績：「高性能で高信頼なマルチサービス基盤 SINET5 の開発」

○物理科学研究科 天文科学専攻 本間希樹 教授
小林秀行 教授
廣田朋也 助教
平成 29 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）を受賞
受賞業績：「VERA2 ビーム電波望遠鏡の開発に基づく銀河系構造の研究」

○物理科学研究科 宇宙科学専攻 戸田知朗 准教授
平成 29 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）を受賞
受賞業績：「探査機あかつき金星周回軌道投入計画とその制御に関する研究」

○複合科学研究科 統計科学専攻 田村義保 教授
中野純司 教授
川崎能典 教授
平成 29 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（理解増進部門）を受賞
受賞業績：「統計的データ解析活用力/思考力の普及啓発」

○物理科学研究科 構造分子科学専攻 岩崎章仁 教授
平成 29 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰・若手科学者賞を受賞
受賞業績：「量子散逸系の動力学理論に基づく光合成初期過程の理論研究」

複合科学研究科 情報学専攻 吉田悠一 准教授
平成 29 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰・若手科学者賞を受賞
受賞業績：「定数時間アルゴリズムの研究」

【各賞の概要】

- ・ 開発部門：
日本の社会経済、国民生活の発展向上等に寄与し、実際に利活用されている（今後利活用が期待されるものを含む）画期的な研究開発若しくは発明を行った者が対象。
- ・ 研究部門：
日本の科学技術の発展等に寄与する可能性の高い独創的な研究又は開発を行った者が対象。
- ・ 理解増進部門：
青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行った者が対象。
- ・ 若手科学者賞：
萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた若手研究者が対象。

なお、賞の詳細については下記 URL をご参照ください。
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/04/1384228.htm



○物理科学研究科 構造分子科学専攻 TAO Shanshan さん（学生）
日本化学会第 97 春季年会「学生講演賞」を受賞
賞の概要：春季年会における一般研究発表で大学院博士（後期）課程に在籍する学生会員の講演が対象。発表内容、プレゼンテーション、質疑応答などにおいて優れた講演で、講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待されるものに対して贈呈されます。

- 複合科学研究科 統計科学専攻 川島孝行さん（学生）
 応用統計学会 2017 年会において優秀ポスター賞を受賞
 受賞業績：「多量のミスラベルデータに対するスパースなロジスティック回帰」
 賞の概要：発表者が発表時点で満 35 歳以下の会員が対象（ただし、発表時点で入会予定者も含み、また共著の場合は筆頭著者を対象者とする）で、優秀な発表を行った若干名に授与されます。
- 複合科学研究科 統計科学専攻 田上悠太さん（学生）
 早水桃子さん（学生）
 平成 28 年度統計数理研究所優秀学生賞を受賞
- 複合科学研究科 極域科学専攻 猪上淳 准教授
 日本気象学会賞を受賞
 受賞業績：「北極の大気循環および大気-海氷-海洋相互作用の研究」
 賞の概要：日本気象学会が、気象学および気象技術に関し貴重な研究をなした者に対して授与されます。
- 生命科学研究科 遺伝学専攻 北川大樹 教授
 第 10 回（平成 28 年度）風戸賞を受賞
 受賞業績：「電子顕微鏡を用いた中心小体構造形成過程の解析」
 賞の概要：電子顕微鏡並びに関連装置の研究・開発及び電子顕微鏡並びに関連装置を用いた研究（医学、生物学、物理学、化学、材料学、ナノテク、その他）において優れた業績を挙げた研究者に、公益財団法人 風戸研究奨励会から贈呈されます。
- 生命科学研究科 生理科学専攻 小松英彦 教授
 公益財団 法人金原一郎記念医学療振興公益財団の第 1 回生体の科学賞を受賞
 受賞業績：「充填知覚研究に基づく階層的知覚情報処理機構の解明」
 賞の概要：基礎医学医療研究領域における独自性と発展性のあるテーマに対して、現在進行しているもの、計画立案中など、現時点の状況は問わず、研究に要する費用への支援を目的とした助成金です。
- 生命科学研究科 生理科学専攻 磯田昌岐 教授
 第 31 回塚原伸晃記念賞を受賞
 受賞業績：社会的認知機能のシステム生理学的解明
 賞の概要：生命科学の分野において独創的な研究を行っている 50 歳以下の研究者を対象に、賞牌および賞金 100 万円が贈呈されます。

イベント情報

- 平成 29 年度第 2 回基礎生物学専攻 大学院説明会を開催
 日時：5 月 13 日（土） 13:00-17:00
 場所：秋葉原 UDX カンファレンス 会議室 Type120（D）
 プログラム：
 12:30— 受付
 13:00— 大学院説明会開始（専攻の説明、研究室紹介、総研大生の生活についてなど）
 15:10— 各部門ポスター説明（岡崎からのネット中継での説明含む。17:00 終了）
 当日の詳細と大学院説明会へのお申し込みについては、下記の URL をご覧ください。

<http://www.nibb.ac.jp/graduate/index.html>

○2017年先導科学研究科 生命共生体進化学専攻 講演会・説明会を開催

日時：5月20日(土) 13:00-17:00

場所：秋葉原 UDX カンファレンス 会議室 type120

プログラム：

13:00-15:00 第1部 講演「生命共生体進化学専攻における研究の最前線」

・寺井洋平 助教

「新しい種が生まれる時にゲノムに何が起きるか？—魚類とマカクの研究を例に—」

・沓掛展之 講師

「発見を逃さない方法 —哺乳類の知性を探る—」

・佐々木頭 教授

「首都圏通勤ネットワークと感染爆発（パンデミック）—新宿での攻防が勝敗を決する—」

15:10-16:00 第2部 生命共生体進化学専攻説明会

16:00-17:00 研究室の研究説明/個別相談

申込方法及び詳細については、下記のURLをご覧ください。

http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/briefing_detail.html

○5月20日(土)に遺伝学専攻の大学院一日体験会を開催

日時：2017年5月20日(土) 13:00—17:00

場所：国立遺伝学研究所（三島）

※事前申込みにより交通費（片道）支給。

事前申込み締切：2017年5月18日(木) 正午

申込み、体験会の内容等の詳しい情報は、下記URLよりご確認ください。

<https://www.nig.ac.jp/nig-daigakuin/nig-daigakuin2017/>

○物理科学研究科 核融合科学専攻 入試説明会を開催

物理科学研究科 核融合科学専攻の入試説明会を下記の日程・会場で開催します。

[日程会場一覧]

5月24日(水) 13:00—16:00、TKP 新大阪ビジネスセンター

対象：博士課程（5年一貫制）：大学学部卒業相当

博士課程（3年次編入）：大学院修士相当

内容：核融合科学専攻の紹介、入試要項の説明、学費支援制度の説明など。

参加申込期限：平成29年4月21日(金) 正午まで

なお、参加申込方法などの詳細については、下記のURLをご覧ください。

<http://soken.nifs.ac.jp/wp/admissions/setsumeikai/>



○生命共生体進化学専攻オープンキャンパスを開催

日時：6月2日—6月3日（1泊2日、1日のみの参加も可能）、13:30—受付（予定）

場所：総研大 葉山キャンパス



定員：先着10名（交通費・宿泊費の支援可能、5月24日(水)募集締切）

内容：総研大及び専攻の概要説明、カリキュラム・入試の説明、各教員の研究内容紹介（ポスターによる研究内容紹介含む）、ラボ見学ツアー、個別相談など

当日の詳しい内容及び申込方法（お問い合わせ先）については、下記のURLをご覧ください。

・オープンキャンパス(概要)：

http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/open_campus.html

・オープンキャンパス(詳細)：

http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/open_campus_detail.html

○分子科学研究所オープンキャンパス 2017

日時：6月3日(土)、9:00-16:00

場所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

内容：大学院説明、共同研究の相談など

プログラム：

9:00-9:30 受付

9:30-10:20 分子研の概要説明、総研大の概要説明

10:20-12:00 分子研 PI による研究紹介

13:00-16:00 研究室見学(見学概要説明含む)

詳細は、左記の URL をご覧ください。

<https://www.ims.ac.jp/education/opencampus2017.html>



○情報学専攻 大学院説明会



日時：6月10日(土)、15:00-18:00

場所：国立情報学研究所(学術総合センタービル)2階小会議室

内容：入試概要説明、学生紹介、ポスターツアー、個別相談など

プログラム：

15:00-17:00 情報学専攻の概要、入試概要説明、学生生活紹介、ポスター展示ツアー

17:10-18:00 個別相談会(個別相談への参加には、申込フォームへの記入が必要)

詳細については、下記の URL をご確認ください。

<http://www.nii.ac.jp/about/graduate/guidance/>

○JSPS サマー・プログラム 2017

本学では、国公私立大学、国立研究機関等を受入機関として、(独)日本学術振興会との共催にてプログラムを実施しています。本プログラムは、欧米主要国の博士号取得前後の研究者を夏期2ヶ月間、我が国に招致し、我が国の文化や研究システムに関するオリエンテーションと日本側受入研究者の下での研究機会を提供するものです。

本年度は、下記のプログラム日程(予定)で実施されます。

日程：6月13日(火)-8月23日(水)(予定)

各日のプログラム：

6月14日(水) 開講式及び歓迎レセプション @総研大(葉山キャンパス)

6月15日(木) オリエンテーション @総研大(葉山キャンパス)

6月16日(金) オリエンテーション・ホームステイ @総研大(葉山キャンパス)

6月17日(土) ホームステイ(-18日(日)まで)

6月19日(月) オリエンテーション @総研大(葉山キャンパス)

6月20日(火) 受入研究期間(-8月21日(月)まで受入研究機関において共同研究)

8月22日(火) 報告会及び閉講式 @東京都内

8月23日(水) 成田空港から帰国

事業の詳細については、日本学術振興会HP(<http://www.jsps.go.jp/j-summer/index.html>)をご覧ください。また、昨年度までの実施状況については、下記の URL をご覧ください。

日本語：https://www.soken.ac.jp/activities/jsps_summer/

English：https://www.soken.ac.jp/en/activities/jsps_summer/

○統計科学専攻 学生研究発表会(ポスター)

日時：6月16日(金)、10:30-17:40

場所：統計数理研究所(立川)

内容：全教員・特任研究員及び大学院生による研究活動紹介

ポスター説明時間(10:30-12:30、各研究者・学生が40分ずつ3交代で内容を説明)

プログラム：

10:30-17:40 研究内容ポスター展示
 全教員・特任研究員及び大学院生による研究活動紹介
 (ポスター説明時間 10:30-12:30)
 12:50-13:20 研究施設見学ツアー (1回目)
 15:40-16:10 研究施設見学ツアー (2回目)
 ※研究施設見学ツアーは各回先着50名
 15:40-17:40 複合科学研究科 統計科学専攻 大学院説明会
 (13:30-15:30 入試相談コーナー)
 ※対象: 統計科学専攻に関心のある大学生・大学院生・社会人
 詳細については、下記のURLをご覧ください。
<http://www.ism.ac.jp/openhouse/2017/index.html>



○統計科学専攻 大学院説明会

日時: 6月16日(金)、15:40-17:40

場所: 統計数理研究所 (立川)

内容: 入試ガイダンス、カリキュラムの説明、学生による学生生活と研究テーマの紹介、個別相談及び研究室訪問など。

詳細については、下記のURLをご覧ください。

<http://www.ism.ac.jp/senkou/setsumeikai.html>

●基盤機関の行事

5月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
開催中-27日(土)	10:00-16:30	通常展示「和書のさまざま」 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2016/washosama201701.html
10日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんぱく×ナレッジキャピタル ビーズつなぐ・かざる・みせる第3回『アイヌとガラス玉の交易』」 グランフロント大阪北館1階「CAFE Lab.」	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/outside/knowledge20170510
11日(木)	16:30-18:00	第217回 Nichibunken Evening Seminar 「TSUCHI: Japanese Earth and Soil in Pottery, Photography, and Installation Art, 1960-2000」 国際日本文化研究センター セミナー室2	http://research.nichibun.ac.jp/ja/events/archives/evening_seminar/cal/2017/05/11/s001/index.html
11日(木)-7月11日(火)	10:00-16:30	展示特設コーナー「馬琴生誕250年記念展示～伝奇小説の世界～」 国文学研究資料館 1階展示室	
12日(金)	13:15-	4D2U定例公開「渦巻銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
12日(金)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体: 木星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
13日(土)	13:00-15:00	第400回歴博講演会「晩ご飯は何? 資料のデンプンから探る昔の食べ物」 国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
13日(土)	13:15-	4D2U定例公開「渦巻銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/

14日(日)	12:30-18:30	シンポジウム「なぜ国際日本研究なのか」 国際日本文化研究センター 第1共同研究室	http://research.nichibun.ac.jp/ja/events/archives/symposium/s001/cal/2017/05/14/s001/index.html
14日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう「豊かな高齢期とナラティブ」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/465
15日(土)	13:30-15:00	第468回みんなくゼミナール「心地よい暮らし (エイジング・イン・プレイス)—コミュニ ティをつなぐアーミッシュたちの暮らしか ら」 国立民族学博物館 講堂	
17日(火)	13:00-15:00	創立30周年記念講演会 国際日本文化研究センター 講堂	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/kohenkai/s001/cal/2017/05/17/index.html
20日(土)	10:00-	国際博物館の日記念事業 国立民族学博物館 本館展示場	
20日(土)	13:30-15:00	第468回みんなくゼミナール「心地よい暮らし (エイジング・イン・プレイス)—コミュニ ティをつなぐアーミッシュたちの暮らしか ら」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/468
20日(土)	13:00-17:40	大学院1日体験会・国立遺伝学研究所	https://www.nig.ac.jp/nig-daigakuin/
20日(土)	13:15-	4D2U定例公開「渦巻銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
21日(日)	13:30-15:00	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル ビーズ—つなぐ・かざる・みせる第4回「ビ ーズの魅力—みんなく展示ツアー」 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/outside/knowledge20170521
21日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう「マランガン儀礼と彫刻 —ジョージ・ ブラウン・コレクションから」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/466
24日(水)	13:00-16:00	総合研究大学院大学 物理科学研究科 核融合科学専攻 入試説明会(核融合科学研 究所)	http://soken.nifs.ac.jp/wp/admissions/setsumeikai/
25日(木)	11:30-12:15	ギャラリートーク 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2016/washosama201701.html
25日(木)	16:30-18:00	第237回 日文研木曜セミナー「顔の見えるグ ローバルヒストリーへ —移民史研究からの試 み—」 国際日本文化研究センター セミナー室1	http://research.nichibun.ac.jp/ja/events/archives/mokusemi/cal/2017/05/25/s001/index.html

26日(金)	11:30-19:10	創立30周年記念イベント 映画「ハッピーアワー」上映&監督・主演女優トーク 京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/kohenkai/s001/cal/2017/05/26/index.html
27日(土)	10:30-12:00 14:00-15:30	【特別展関連】ワークショップ「ビーズの素材に注目！—ペーパービーズをつくろう」 国立民族学博物館 特別展示館など	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20170309beads/event
27日(土)	13:30-15:30	第218回くらしの植物苑観察会「梅雨の植物文化誌」国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/observation/index.html
27日(土)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：木星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
28日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「新しい東南アジア展示場ができるまで—生業と寺院を中心に」 国立民族学博物館 東南アジア展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/467

6月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
3日(土)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
3日(土)	13:30-15:30	第30回歴博映画の会「沖縄の成巫儀礼 - イザイホウ -」国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html
4日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「直前解説：音楽の祭日を100倍楽しむ法」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/468
5(月)- 9(金)		電波天文観測実習 国立天文台 野辺山宇宙電波観測所	http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/html/misc/45school.html
9日(金)	11:00-18:00	国立情報学研究所オープンハウス2017 研究成果一般公開～基調講演・デモ・ポスター展示など	http://www.nii.ac.jp/openhouse/
9日(金)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
9日(金)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：木星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
10日(土)	11:00-17:00	国立情報学研究所オープンハウス2017 研究成果一般公開～研究100連発・デモ・ポスター展示など	http://www.nii.ac.jp/openhouse/
10日(土)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
11日(日)	14:30-15:15	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「民家調査のい〜ろ〜は：建築人類学者はなにをめざす」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/469



★【広報社会連携室から】

ーメディア・イベント出演情報ー

○総研大は、来年 2018 年に創立 30 周年を迎えます。

10 月 1 日の創立記念日を中心に、式典の開催、修了生による講演会、ロゴ・スローガン・キャラクターの作成、寄付口座の開設及びホームカミングデーの開催などを考えています。これらにつきご意見のある方、また、これら以外のアイデアのある方は、30 周年事業担当の田村学長補佐 (katsumi_tamura@soken.ac.jp)、あるいは、広報社会連携室 (kouhou1@ml.soken.ac.jp) まで、ご意見をお寄せください。

○長谷川学長のコラム記事が毎日新聞にて連載中です。

毎日新聞コラム-時代の風-「急速な高齢化社会」

記事の内容は、毎日新聞の HP (<https://mainichi.jp/>) のオピニオン「コラム」ページにて閲覧可能です。最新記事は、下記 URL をご覧ください。

<https://mainichi.jp/articles/20170423/ddm/002/070/054000c>

○学融合推進センター 塚原直樹 助教の記事が読売新聞に掲載されました

5 月 2 日(火)発売の読売新聞(夕刊)に、学融合推進センター 塚原直樹 助教の記事が掲載されました。

読売新聞 「AI でカラスと話そう」

記事の内容は、YOMIURI ONLINE のページ(下記 URL) からでも閲覧可能です。

<http://www.yomiuri.co.jp/national/20170502-OYT1T50101.html>

広報社会連携室では、各専攻の担当教員の「メディア出演」を総研大HP並びに総研大ニューズレター掲載等により発信しておりますので、出演情報を是非お寄せください。なお、メディア出演情報は「出演します/出演しました」どちらでも構いませんので、ご提供のほどよろしくお願いたします。

○神奈川新聞連載コラム記事について

本学の知名度向上と総研大教員の研究の社会還元を目的として、神奈川新聞リレー記事『最先端の現場ー総研大発ー』を 6 月 10 日(金)から毎月隔週(第 2・第 4 金曜日)で掲載しています。5 月 10 日現在、連載全 24 回中第 22 回目まで記事が掲載されました。連載記事は、総研大HP 上でも見ることができます。

詳細は、下記の URL をご覧下さい。<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/column/>

(総研大HP 上での掲載は、権利関係上、掲載日から 1 年間のみとなります。)

【連載第 22 回までの執筆者一覧】 連載も残り 2 回となりました!

掲載順	掲載日	研究科	専攻	執筆者	役職
1	6/10	葉山本部	広報社会連携室	眞山聡	講師
2	6/24	物理	宇宙科学	橋本博文	准教授
3	7/8	文化	国際日本研究	細川周平	教授
4	7/22	物理	構造分子科学	正岡重行	准教授
5	8/13	生命	遺伝学	斎藤成也	教授
6	8/26	複合	極域科学	猪上淳	准教授
7	9/9	高エネ	物質構造科学	千田俊哉	教授
8	9/23	文化	日本歴史研究	山田康弘	教授
9	10/14	物理	天文科学	有本信雄	教授
10	10/28	複合	統計科学	吉田亮	准教授
11	11/11	先導	生命共生体進化学	寺井洋平	助教
12	11/25	文化	地域文化学	野林厚志	教授
13	12/9	高エネ	加速器科学	土屋公央	准教授
14	12/23	生命科学	生理科学	井本敬二	教授(専攻長)

今回の連載は、5 月 12 日(金)です!

15	1/13	文化	日本文学研究	海野圭介	准教授
16	1/27	物理	核融合科学	後藤基志	准教授
17	2/10	葉山本部	学融合推進センター	西中美和	特任准教授
18	2/24	物理	機能分子科学	小杉信博	教授
19	3/10	葉山本部	学融合推進センター	内川明香	助教
20	3/24	高エネ	素粒子原子核	宇野彰二	教授
21	4/14	複合	情報学	稲邑哲也	准教授
22	4/28	生命	基礎生物学	藤森俊彦	教授

新聞発行後、総研大HPに記事を掲載いたしますので、ぜひ総研大HPへお越し下さい！

○広報特派員の募集について

広報社会連携室では、広報特派員を募集しております。総研大の広報活動にご協力いただける学生さんの応募をお待ちしております。

詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/information/corres/>

【編集後記】

総研大ニューズレター第107号をお届けします。時間が経つのは早いもので、あっという間に5月になってしまいました。この間、4月号を発行したと思ったら、もう5月号の発行です。学融合推進センター棟の裏にある藤棚の藤が綺麗に咲いていました。編集後記様に藤棚を撮影中、ウグイスの鳴きが聞こえてきましたが、まだ若鳥なのか、「ホーホケキョ」ではなく「ホーホケッ」や「ホーホケッ・キョ」と鳴いていました。

トピックスの原稿をご寄稿いただけましたら、総研大ニューズレターへ掲載いたしますので、総研大関係のイベント、受賞情報等ありましたら、是非とも広報社会連携室まで情報をお寄せください。



広報社会連携室 E・A

広報社会連携室では、メディアを通じて総研大の研究成果を広く社会に発信しています。特に、総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻（基盤機関）との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニューズレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報は是非お寄せください。

研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、「総合研究大学院大学」と表記いただきますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします。

発行 2017年5月10日
編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）
広報社会連携室
TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632
Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp
※(at)は@に変換してください。

©2017SOKENDAI